

## 第 22 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会

### 大会概要

- 1大会名称: 第 22 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会
- 2目 的: (1) 各都道府県間の交流の活性化を図り、併せて中学生の競技力の向上を目指す。(強化)  
(2) 各地区・各チームのリーダーの育成を図り、中学校のバスケットボールの一層の普及を目指す。(普及)  
(3) この大会をJOCジュニアオリンピックカップに位置づける
- 3主 催: (財) 日本バスケットボール協会
- 4主 管: 東京都バスケットボール協会、埼玉県バスケットボール協会、千葉県バスケットボール協会  
神奈川県バスケットボール協会、さいたま市バスケットボール連盟、市川市バスケットボール協会、  
浦安市バスケットボール協会、湘南地区バスケットボール協会、藤沢市バスケットボール協会、  
川崎市バスケットボール協会
- 5後 援: 文部科学省、(財) 日本中学校体育連盟、東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会  
神奈川県教育委員会、さいたま市教育委員会、市川市教育委員会、浦安市教育委員会、  
藤沢市教育委員会、川崎市教育委員会、東京都中学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟、  
千葉県小中学校体育連盟、神奈川県中学校体育連盟、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社
- 6協 賛: (株) アシックス、トップツアー(株)、(株) モルテン、丸大食品(株)
- 7大会期日: 平成 21 年 3 月 28 日(土)・29 日(日)・30 日(月)
- 8大会会場: 東京体育館・上尾運動公園体育館・さいたま市大宮体育館・市川市塩浜市民体育館  
浦安市運動公園総合体育館・藤沢市秩父宮記念体育館・川崎市体育館
- 9参加資格: (1) (財) 日本バスケットボール協会にチーム加盟・競技者登録をしていること。  
(2) 各都道府県代表および開催地代表選抜男女各 1 チーム。開催地代表チームは各都道府県  
チームと同じ扱いとする。  
(3) 都道府県代表チームは(財) 日本バスケットボール協会に登録された中学校の生徒で、  
各都道府県の定める方法により選抜された複数校の 1・2 年生の選手で構成する。  
(4) 開催地代表の編成は開催都道府県に一任するが、上記(3)および下記 12(編成)の規定を  
準用すること。
- 10編 成: 選抜チームの編成にあたっては次のことを厳守すること。  
(1) チームの編成はスタッフ 3 名(コーチ、アシスタント・コーチ、マネージャー)および選手 12 名以内とする。  
但し、スタッフのうち最低 1 名は中学校の教員とすること。また「ベンチで指揮を執る者」は、  
有資格者(JBA コーチ)であること。  
(2) 選手の選抜方法は、各都道府県の定める方法によるが、単に学校の大会成績のみでなく、  
真に選手の力量によって選抜すること。  
(3) 選手の選抜にあたっては、各協会は管下の都道府県全域にあまねく目を向け、最強の都道府  
県中学生選抜チームを編成すること。  
(4) 1 校からの選抜は、最多でも 4 名までとすること。
- 11競技規則: 現行の日本バスケットボール協会競技規則による。
- 12競技方法: 大会第 1 日 参加チームを 16 ブロックに分け予選リーグを行う。  
大会第 2 日 各ブロック 1 位チームによる決勝トーナメント 1・2 回戦  
大会第 3 日 決勝トーナメント準決勝戦、決勝戦
- 13表 彰: (1) 優勝チームには、(財) 日本バスケットボール協会より優勝杯を授与する。また、1~3 位には  
(財) 日本バスケットボール協会より賞状楯およびメダルを、(株) アシックスよりトロフィーを、  
トップツアー(株)よりトロフィーを、(株) モルテンより記念ボールを、朝日新聞社、日刊スポー  
ツ新聞社より大会記念品を授与する。  
(2) (財) 日本バスケットボール協会より優秀選手賞を授与する。また、(株) アシックスより  
副賞を授与する。  
(3) (財) 日本バスケットボール協会より男女 1 名ずつ最優秀選手賞を授与する。